

踏切の遮断桿が降りずに列車が通過した事象について

2021年9月27日、嵯峨野線を走行する列車が踏切の遮断桿が動作していない状態で通過していたことが判明いたしました。ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

1 発生日時

9月27日（月） 10時27分頃

2 発生場所

嵯峨野線（山陰本線） 吉富（よしとみ）～園部（そのべ）駅間

<踏切名>室河原（むろがわら）踏切 警報機：あり 遮断機：あり

3 列車名

上り快速電車 4両編成 乗客数：約50名

園部（10：17）発 京都（10：52）行

4 概況

10:27頃、大阪総合指令所の指令員は、モニター上で室河原踏切に故障がある旨の表示を認め確認を行った結果、踏切が動作していない状態で上り快速電車（園部10:17発京都10:57行）が通過していたことが判明しました。

※ご乗車のお客様にお怪我はありません。

※当該踏切付近に自動車や通行される方はおられませんでした。

5 原因

当該普通列車が園部駅を発車後に線路内に人が立ち入る事象が発生し、安全確認の後、8分後に運転を再開しましたが、この際に指令員と運転士間での信号機の状態確認が不十分だったためです。

6 対策

今回の事象を他の運転士・指令員に周知し、指導、徹底してまいります。

